

埼玉県議会議員 自由民主党

NO.23



藤本正人 通信



藤本正人後援会連絡先：〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台1309-6 TEL.04-2921-3936 FAX.04-2921-3936



しゃんと していこう日本!!

—そして大人が連帯を—

ポスターにあるこのフレーズを決めたのは今年1月のことでした。
しかし、この3月、大地震がおこり本当に国民みんなしゃんとせねばならなくなりました。

被災された方々の悲しみを思うと言葉が出ません。
自分に何が出来るのか!? 自問する日々でした。

しかし今は思うのです。まずは自分の出来ることをしよう。
仕事でも家族を守るでもとにかく自らやるべきことを、ゴツゴツやるしかないのではないかと。

頑張ろう!! 日本!

原点に立ち返りしゃんと、連帯して、我々大人が
子どもたちに範を示すときです。

3月21日埼玉県議会 藤本正人

義援金について

所沢市：市役所1階にて日本赤十字社を通じ支援します。また、旧市役所1階の社会福祉協議会でも。
また、郵便局、コンビニ、銀行から振り込んでいただくようになってまいります。
自民党埼玉県連：埼玉りそな銀行 県庁支店 支店番号：104 □座番号：(普)4670121
□座名義：自民党災害募金 で受けております。

★ホームページ・ブログをぜひご覧ください。まじめなホームページには市議会時代から現在までの選挙報告、時代に対する私の意見が。そして、ただただブログには日々のこぼれ話、おもしろい物、趣味などいろいろあります。

※家賃や敷金など免除する「被災者応援民間賃貸住宅」を募集しています。提供いただける方は下記にご連絡を。

県住宅課 048-1833015563・5573

救援物資について

県で水・毛布・オムツ・食料をダンボール箱単位で募集中。但し、川島中央防災基地か熊谷ドームでしか受けられません。川島中央防災基地 049-297-7416

自民党では、乾電池、携帯充電器（乾電池式）、紙おむつ（幼児用・介護用）、生理用品、携帯カイロ、アルコール性ウェットティッシュのみ受け付け中です。送付先 自由民主党本部 緊急救援物資係 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23 電話03-3581-6211（代表）
 なお、藤本正人の事務所（小手指西友B館斜め前）でも3月30日まで受付、被災地への橋渡しをいたします。品物は未使用のものに限らせていただきます。

さらに市でも生涯学習センターと公民館で援助物資を受け付けます。（月～金・9時～午後4時半まで）（3月23日現在）

ボランティアについて

県ではボランティアしてくれる方を登録中です。現地の受け入れ態勢が整い次第連絡が来ます。

ボランティアくださる方は 埼玉県ボランティア・市民活動センター さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65（彩の国すこやかプラザ）電話048-822-1435 又はホームページから登録をお願いいたします。（3月22日現在）

埼玉県・所沢市の対応状況

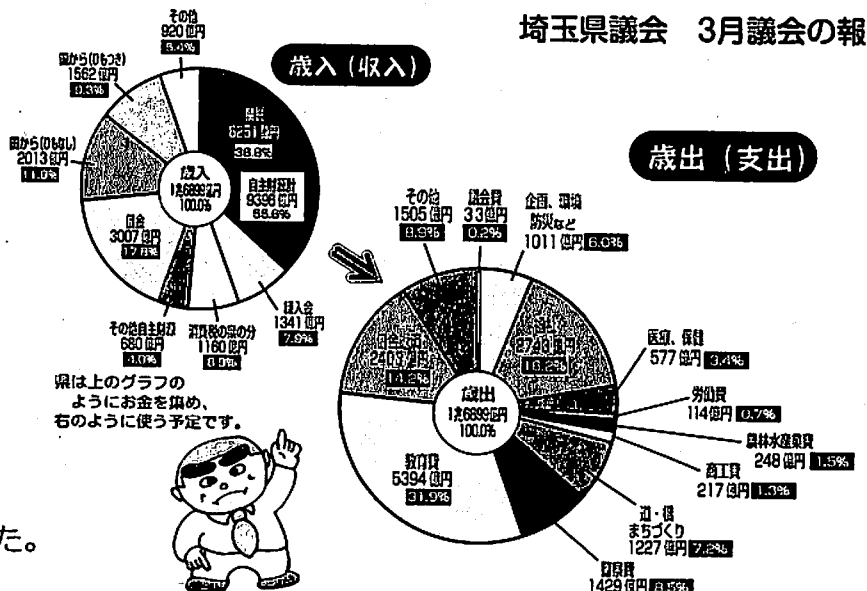
県内各市の消防から派遣され編成された消防隊44隊はじめ、警察隊、医師のチーム、ドクターヘリなどが救援出動中です。また、避難者の一時保護所として県施設 埼玉スーパーアリーナ（2500人）彩の国さいたま人づくり広域連合センター（400人）人間茶業研究所（125人）新都心ビジネス交流プラザ（120人）を提供。3月31日までの見込みです。その後は、廃校になった高校、県営、市営住宅などに移ってもらうことに。しかし、それだけでは足りません。みなさまから部屋の一時提供などの声もいただいていますので、県がルールを決めて間に入って、ご提供を募ることになるかもしれません。その時はよろしく願いいたします。また、各市町村でも受け入れ開始。8912人の場を確保。所沢市も4つの老人福祉センター（吾妻、小手指、三ヶ島、富岡）で計100人を22日から受け入れ開始。武道館でも受け入れとか。受け入れについては市民相談課2998-9092へ。

平成23年度 新年度予算について

埼玉県議会 3月議会の報告

一般会計で1兆6899億円、特別会計・企業会計では6479億円の予算を決定いたしました。昨年度より1%未満の伸び率です。法人2税の増収を予想しての編成です。

上田知事は今という時代を幕末・明治維新になぞらえ、地方は薩摩・長州のように自立自尊で行くべし、との方針で「未来への投資」と「暮らしの安心・安全」の2本柱で予算を組みました。



15 未来への投資 「海外へ打って出る人材育成への投資」と「新たな産業への投資」

海外留学する高校、大学生の奨学金制度260人分を用意したり、公立高校生30人を海外派遣、10億円の基金を創り企業の若手社員の海外研修などに補助、成長分野の新技术開発に県が最大1000万円まで補助。タイやベトナムに水ビジネスで県が進出、ほうれん草・里芋・枝豆など野菜日本一プロジェクト。

暮らしの安心・安全

保育園などの枠4500人分増やし、空き店舗など利用した地域の共生活動（サロン、配食サービス拠点など）を支援（部屋改修費に1件100万円補助）、生活保護の家庭の中3生を学習支援、周産期医療の強化として新生児集中治療室への予算を昨年比3倍にし埼玉医大のベッド数30床増、発達障害児者への支援の本格化、合併処理浄化槽への県補助を大幅増強などをします。

紙面の都合から、福祉関係予算について報告します。

福祉関係予算・・・2742億5350円

国でも社会保障費が毎年1兆円ずつ増えていますが、県でもこの福祉関係予算は毎年増額し続けています。昨年にくらべ182億円増えました。県全体の16.2%が福祉関係費です。

さて、県は高齢者、児童、障害者福祉について整備計画を持っていて、県独自の施策を行うだけでなく、市町村や法人が施設整備したりサービス充実するのに対し補助を出す形でも応援しています。

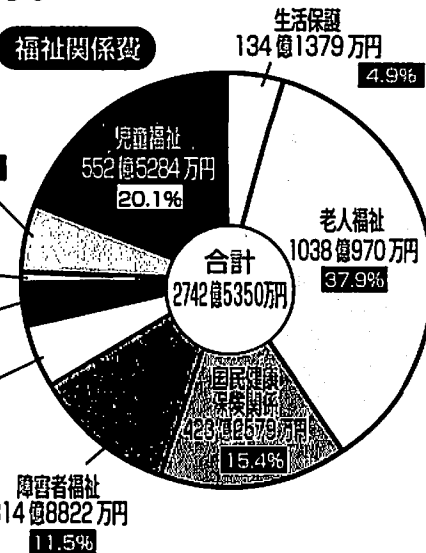
大きくは、

高齢者（含む介護）福祉で	1038億970万円
児童（含む虐待防止）福祉で	552億5284万円
障害者福祉で	314億8822万円

を使って様々な事業をしています。

例えば、

- ◎特別養護老人ホーム新設（18施設1414人分増床）・・・31億9491万円
老朽化改修11施設・・・5億9600万円
- ◎市が行う介護保険を支えるため、県も負担金を出して・・・470億2040万円
- ◎保育園整備では4500人分の受け入れ枠拡大を目指し・・・47億6500万円
- ◎障害者のホームヘルプサービスを行う市町村に対し・・・13億5701万円



県として特色ある取り組み

◎地域支え合いの仕組み・・・3709万円

商店街の空き店舗など利用して買い物難民支援や配食サービスなどの取り組みを奨める。地域通貨を使って同時に商店街の振興も狙う。すでに活動を始めている25団体を含め、今年は新たに5団体を指定して地域で支え合う土壌をつくる。

◎地域のつながり再生事業・・・5億8923万円

自治会などの地域の人々で地域の人々を見守ってもらおう。「絆」を取り戻そうという事業に補助を出す。

- 1) 支え合いマップ 50～100世帯単位でゼンリンの地図などを利用し、助けの必要な住民、援助できる人などを地図におとし把握する。地図作りの過程でも絆を深める。
- 2) 安否確認サインの活用 1人暮らしの高齢者などに安否のサインとなる印(旗など)を玄関などにおいてもらう取り組みなど。
- 3) 地域の活動拠点作り補助 見守りの拠点、サロン、買い物支援の拠点などを増やしたい。空き店舗や古民家などを改修する費用に100万円まで補助。

◎高齢者に学童で勉強など教えてもらう・・・439万円

気持ちのある高齢者に登録していただき、希望する学童保育にいて勉強を教えたり遊びを教えたりしていただく。

◎生活保護から脱出する支援・・・7億9277万円

無料定額宿泊所から民間アパートなどに引っ越させたり、生活保護受給者を職業訓練して就職に導いたりする。また、保護家庭の中3生の子に学生ボランティアが教えて貧困の連鎖を断つ。(3)

私の12月議会での質問が反映されたと感じています